

総論

第1章 「東北町新時代プラン2035」とは

1 総合振興計画とは

**まちが目指す姿と、それを実現するための取組を示した、
地方自治体における最も重要な計画。**

総合振興計画とは、地方自治体(都道府県・市区町村)が、将来どのようなまちを目指すのか、そして、それを実現するためにどのようなことに取り組むのかを示した計画です。

地方自治体が策定する計画は、分野ごとにたくさんありますが、総合振興計画は、こうした各種計画のうち、一番上に位置する「最上位計画」であり、最も重要な計画です。

2 なぜ計画をつくるのか

**近年の社会環境・町民ニーズの変化に的確に対応し、
将来にわたって前進し続ける東北町をつくるため。**

本町では、平成17年3月に合併して以来、2次にわたる総合振興計画を策定し、計画的なまちづくりを進めてきました。

しかし、近年、人口減少の加速、大規模な自然災害の発生、デジタル化・脱炭素化の進展をはじめ、社会環境は大きく変化しているほか、これらに伴い、町民ニーズも大きく変化しています。

こうした社会環境や町民ニーズの変化に的確に対応し、将来にわたって前進し続ける東北町をつくっていくため、新たなまちづくりの指針として、第3次東北町総合振興計画を策定します。

また、本町では、人口減少が進む中、これまで2期にわたる総合戦略を策定し、人口減少対策を進め、“まちづくりの重点=総合戦略(人口減少対策)”ととらえており、今回、第3次東北町総合振興計画と第3期東北町総合戦略を一体的に策定することとします。

3 計画の構成と期間は

10年間の「基本構想」と5年間の「基本計画(総合戦略含む)」、3年間の「実施計画」で構成。

計画の構成

基本構想

10年後に目指す将来像と、それを実現するための計画の体系や方針など、今後のまちづくりの大きな方向性を示したものです。

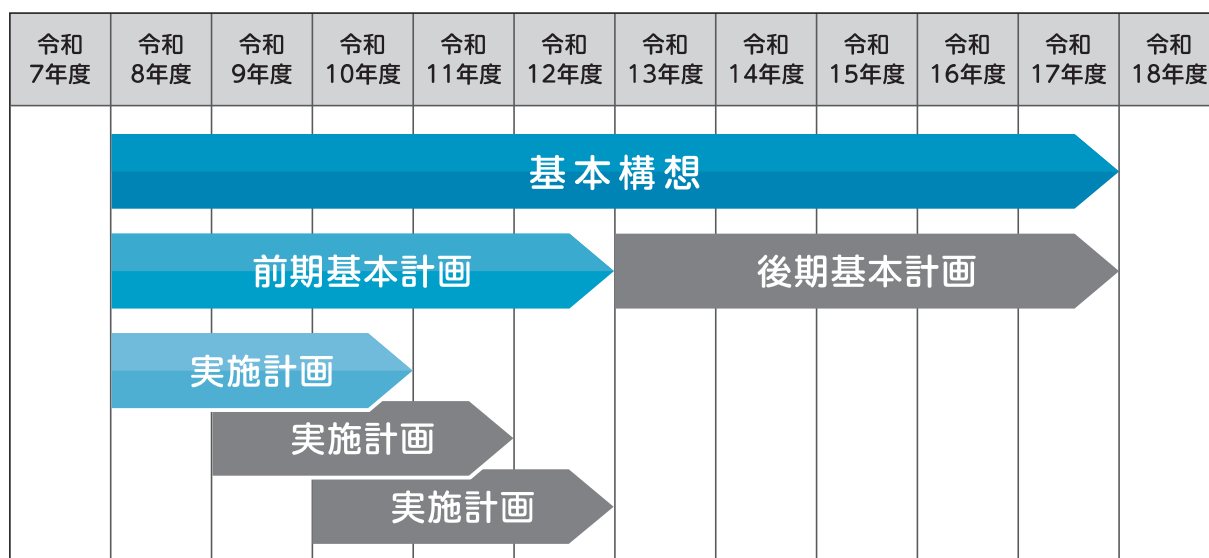
基本計画(総合戦略等含む)

基本構想に基づき、各分野における主な取組を示したものです。
社会環境や町民ニーズの変化に対応できるように、前期基本計画と後期基本計画に分けて策定します。
なお、この基本計画には、総合戦略を含むものとします。

実施計画

基本計画に基づき、具体的な事業や事業費などを示したものです。
別途策定し、毎年度見直しながら、事業を実施していきます。

計画の期間



4 計画づくりで重視したことは

“だれもが読んでわかる”計画づくり、“あるもののばし”の計画づくり、“経営の効率化”につながる計画づくり。

計画づくりで重視したこと

“だれもが読んでわかる”計画づくり

町民みんなのまちづくりの共通目標として、町民が読むことを第一前提に、シンプルでわかりやすい構成・内容・表現とし、“だれもが読んでわかる”計画づくりを行いました。

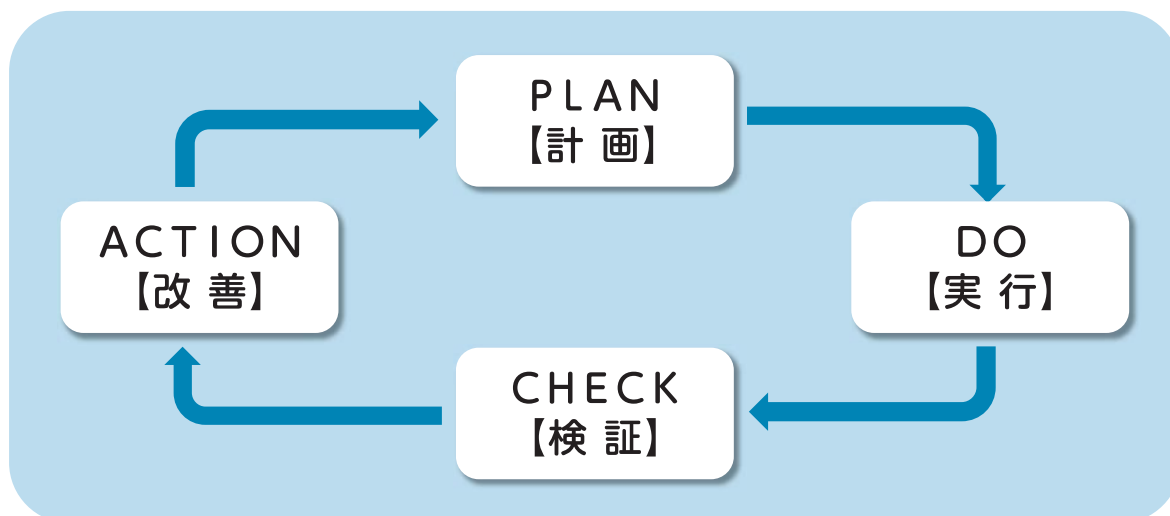
“あるもののばし”の計画づくり

本町ならではの特色ある計画として、本町の「強み」を再発見・再認識し、それを生かして東北町らしさを追求する、ないものねだりではなく、“あるもののばし”の計画づくりを行いました。

“経営の効率化”につながる計画づくり

町行政の総合的な経営指針として、行財政改革やDX^{※1}との連動、施策・事業の「選択と集中」、PDCAサイクルを運用しやすい仕組みづくりなどを行い、“経営の効率化”につながる計画づくりを行いました。

PDCAサイクル



※1 Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略。デジタル技術を活用し、業務やサービス、組織をはじめ、様々な仕組みを変革すること。